



謎の超笑力をもつ大魔王が、あなたに贈る不思議なムダ話

発行：トラベル・ミトラ・ジャパン (E-mail : daimao@travelmitra.jp)

ぼん子画

(570-0041) 大阪市北区天神橋 1-18-25 第3 マツイ・ビル 201 TEL : 06-6354-3011

「6月21日は国際ヨガDAY ③」

インドへ行きたい。平安神宮ヨガDAYなんか、ほっといてインドに行きたい。
そう思った時、次の詩頌が浮かんできた。

行くものは行かない。
行かないものも行かない。

このナーガールジュナの詩頌を“素直に”読むと、結局わが輩は行かないことになる。しかしながら、ふつふつと“残念感”が残る。

(副委員長なんか、受けなければよかった)

ところで、行くものは行かない、という珍妙ともいえる命題を考えてみよう。

まず「行くものは行かない」を、「行くものは行く」とした方が分かりやすい。それを「行くもの」と「行く」に分けると、次の二つになる。

①「行くもの (大魔王)」

②「(大魔王) が行く」

“行く”という運動が二つになる。そうすると、①の行く大魔王と②の行く大魔王の二人の大魔王がいることになってしまう。大魔王が二人いるなんてあり得ない。

あり得ないなら、行くこともない。行かないなら、大魔王もいない。

大魔王だけでは存在し得ない。行くという運動が別にあるわけでもない。二つが依存することで“人間大魔王”が成り立つ。

(ああ、まどろっこしい！)

要は、皆さまのお蔭で大魔王は成り立っている。自分のことだけ考えていてはダメということ。自分の我儘でインドに行けない、ということである。

魔女のような京女と表現したが、魔女はいない。京女もない。すべてがわが輩の自我意識によるクオリア (感覚の質) の為せる業である。

そう考えると、何を為すべきか、明らかになる。つまり、わが輩はインドには行かない。京女のサーバント業に徹することである。

「あなたが行かないなら誰か代理を探して。急いで、お願い」

せっかく哲学的な解答を得て納得していたのに、現実の問題に引き戻された。

慌ててミトラ城の準スタッフ二人をインド政府に推挙した。ところが内一人が却下されてしまった。もう一人は仕事を調整し待機していたが、待てども待てども本国からの正式通知が来ない。第一報がきた。

「泊める部屋がない」

(どうなってるの！)

さらに決定後も詳細がこない。どこに行って、どこに泊まるか分からない。

(そもそも行けるの？)

大雑把な日程表がきたのは出発の一週間前である。

わが準スタッフの直ちゃんは、6月17日夜行バスで成田に向かい翌日デリーに飛んだ。世界から50人ほど招待された。アジア圏では韓国4名、台湾2名である。日本からはたった一名であった。韓国からは大学のヨーガ学科の先生も参加していた。ヨーガに関しては韓国の方が先進国である。直ちゃんは、ただの準スタッフではない。彼はアキュパンクチャーの国家資格を持っている。アーユルヴェーダの知識もある。

6月21日ラクナウ(U・P州都)で行われた国際ヨガDAYにモディ首相も出席した。

奇妙な写真をみた。翌日22日朝日新聞の記事である。「ヨガはいいよ4万人ポーズ」とある。中央に首相が正座し呼吸法をしている写真である。特派員奈良部健撮影とある。

直ちゃんのラクナウからの速報である。

「おはようございます。たった今ヨガDAYからホテルに帰ってきました。ミッションに失敗しました。朝から雨が本格的に降っていて、結局ヨガを出来ずに終わりました。モディ首相の顔もはるか遠方に見えただけでした。ざんねんです」

(朝日のねつ造記事と写真じゃないの？)

直ちゃんの報告によると、雨でヨガができる状態ではなかった。4万人どころか誰もヨガができなかった。

(注)特派員メモ(2017-08-02)のコラムでも「この日は土砂降り」とあったが、ヨガはできなかったと書いていない。(今さら、書けなかったのか?) また、直ちゃんによると写真は前年のものを使用したとのことである。(そのことも書けなかった?)

文中の「ミッション」について述べておこう。

わが輩は直ちゃんに平安神宮ヨガDAYのポスターを持たせた。それを首相に渡すか、首相が掲げる写真を撮れと頼んだ。残念ながら失敗した。雨でポスターがボロボロになってしまったからである。

成功談も披露しよう。観光大臣がポスターを掲げた写真が撮れた。総領事館も観光局長も鼻高々である。最も喜んだのは女性デザイナーHさんである。

ついでに失敗談も。政府手配でラージ・ガート(ガンディー茶毘所)を訪れた。駐車場に帰ったら専用車がない。担当者が人数を確認しないで、直ちゃんをほったらかしにして去ってしまったのである。

これは直ちゃんミス、それとも政府のミスなのか。

(インド的なハプニングだよ、と思って諦めるのがインド流だよ。読者諸氏よ)